2024年１月30日

国際原子力機関(IAEA)による「海洋環境中の放射性核種分析における第１回目の分析機関間比較結果」に関する報告書の公表

国際原子力機関(IAEA)では、2022年から、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所に保管されているALPS処理水の取扱いに関する安全性レビューの一環として、ALPS処理水に係る海域モニタリングの裏付けを目的とした分析機関間比較(ILC: Interlaboratory Comparison)を実施しています。本事業では、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所周辺の海洋試料をIAEAと共同で採取し、IAEA及び日本の各分析機関が個別に分析を行い、IAEAが分析結果の比較評価を行っています。

今般IAEAが、第１回目の本ILCの結果に関する報告書を公表しましたので、お知らせします。同報告書は2022年11月に採取した試料の分析結果等をまとめたものであり、IAEAが選出した韓国のALMERA*[1]メンバーの分析機関も参加しました。公表された報告書において、IAEAは、日本の分析機関の試料採取方法は適切であり、かつ、ILCの結果から、海洋環境中の放射性核種の分析に参加した日本の分析機関が、高い正確性と能力を有している旨報告しています。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故に係る海域モニタリングデータの透明性及び信頼性の確保について日本政府を支援するために2014年から実施されている分析機関間比較の報告書（2022年採取分）については、2023年12月にIAEAから別途公表されています。

- 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所に保管されているALPS処理水の取扱いに関するIAEA安全性レビュー（海洋環境中の放射性核種分析における第１回目の分析機関間比較結果）
  - 報告書全文(英文)
    https://www.iaea.org/sites/default/files/1st_ilc_marine_monitoring.pdf

*[1] ALMERA(Analytical Laboratories for the Measurement of Environmental Radioactivity)は、環境試料中の放射性核種測定の能力を維持・発展させるため、IAEAにより調整される世界の200の加盟研究所で構成され、1995年に設立されたネットワークです。

以上

≪担当≫

【海水･海底土・水生生物試料の分析に関すること】

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：細貝、池田、河野

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

環境省 水・大気環境局 海洋環境課

担当：前田、石川

電話：03-3581-3351(代表)

03-5521-8306(直通)

【水産物試料の分析に関すること】

水産庁 増殖推進部 研究指導課

担当：中山、髙野、中村

電話：03-3502-8111(代表)

(内線6782)

03-6744-2030(直通)